

平成 2 8 年度

岡山大学大学院法務研究科

法学未修者入試 B 日程

小論文問題

- ・ 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 解答は解答用紙に横書きで記入してください。
- ・ 問題冊子は、この表紙を含めて合計 8 枚あります。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください（解答用紙は解答の有無にかかわらず、必ずすべて提出してください）。

問題 以下の文章を読んで、次の2つの設問に解答しなさい。

【設問1】

差別を考えるときの基本について著者はどのように考えているのか、400字以内で述べなさい。

【設問2】

私たちは差別に対してどのように向き合っていくべきかについて、著者の考えも参考にしながら、あなた自身の考えを1000字以内で具体的に述べなさい。

【文章】

出典：好井裕明『差別原論 〈わたし〉のなかの権力とつきあう』（平凡社新書・2007 年）
40 頁以下（なお、出題の都合上、文章の一部を省略・加工している。）

【出題意図】

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する自己の見解を論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることが、出題の意図である。